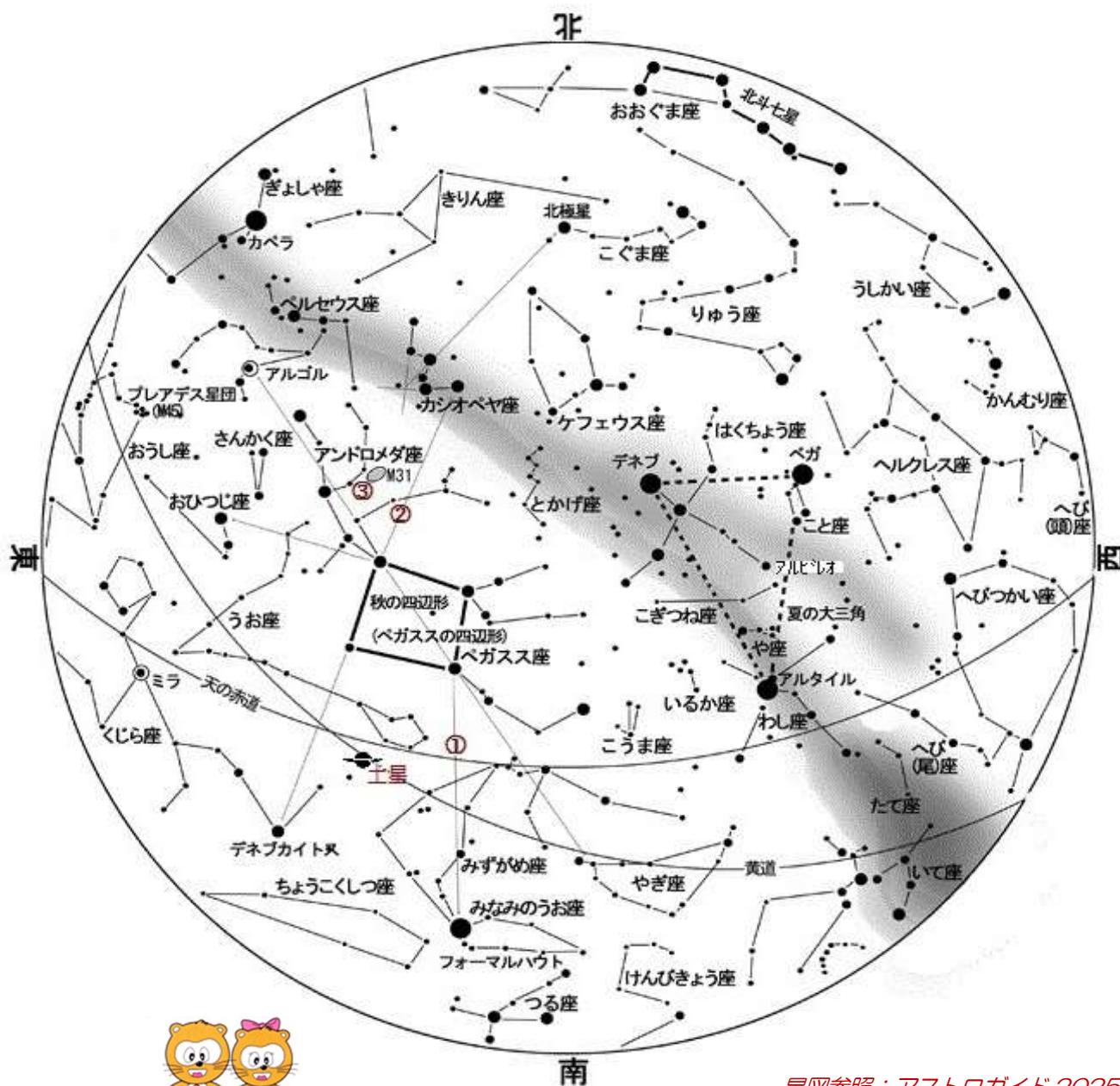


★星空案内《10月初旬 20時30分頃》



星図参照：アストロガイド2025



☆実際の夜空(月が出ていない夜)で、「夏の^{あま}天の川」を観察して位置を確認しましょう！

★秋の星座さがし★

秋本番の夜空では、天頂^{てんちょう}(頭の上)あたりに大きな四角形の星の並びが上ってきます。

これは「秋の四辺形^{しへんけい}」と呼ばれ、秋の星座探しには絶好の案内役です。この四角形は「ペガサスの四辺形」

とも呼ばれ「ペガスス座^{じょうす}」が含まれます。「秋の四辺形」を上手に^{じょうす}使って秋の星たちを探してみましょう！

- ① 「秋の四辺形」の西(星座図では右)の辺を南にのばしていくと、「秋の一つ星と呼ばれる」秋の星座の中では唯一の一等星・**フォーマルハウト**が見つかります。ここには「**みなみのうお座**(ひっくり返った魚)」があります。
- ② 次に「秋の四辺形」の東(左)の辺を北にのばしていくと、W字(縦にみると数字の**3**)に並んだ5つの星の並びにぶつかります。これが北極星を探すためにも使う「**カシオペヤ座**」です。
- ③ 「秋の四辺形」の北東角(左上)の星を頂点(頭)とした“アルファベットA”の星の並びが「**アンドロメダ座**」です。このアンドロメダ(お姫さま)の右腰あたりに小さな雲のようなものが見えます。これが「**アンドロメダ大銀河(M31)**」です。この銀河は、太陽や地球が含まれる「天の川銀河(銀河系とも呼ぶ)」の隣にある銀河なのですが、お隣銀河といっても地球から約 250 万光年(星の光が届くのに 250 万年もかかる距離ほど)離れています。

★2025年 秋～冬の主な流星群と注目の天文現象

現象の名前など	きょくたい 極大日など	特 徴 ・ 詳 細
ちゅうしゅう めいげつ 中秋の名月	10月6日(宵)	旧暦の八月十五日は十五夜。この日の月は「中秋の名月」として、お月見をする習慣がある。今年は遅めの10月6日で満月の1日前！
オリオン座流星群	10月21日(金) (21時頃に極大)	ぼてんたい 母天体はハレー彗星。2006年に活動が活発化し一時間に50個以上も観察！ 今年は新月期に当たり、月明かりの影響もなく Very Good！
○ スーパームーン	11月5日(水)	今年最大の満月「スーパームーン」月が地球に近づくことで、普段の満月より直径で最大10%以上も大きく見え、明るさも三割増し！」
ミ★ しし座流星群	11月18日(火) (午前3時頃極大)	母天体は周期33年のテンペル・タットル彗星。2001年、日本で一時間あたり数千個という大流星雨。平均光度1.5等級で痕を残すものが多い。
ミ★ ふたご座流星群 (三大流星群の一つ)	12月14日(日) (17時頃に極大)	母天体は小惑星ファエトン。一時間あたり50個以上の安定？出現速度が やや速く、平均光度2等級、その一割が0等級より明るい。

メモ欄: _____
